

例 言

- 本書は、1994 年 4 月に京都府立大学文学部史学科内に発足した考古学研究室の開設 30 周年を記念して、卒業生を中心に企画・立案した考古学論集である。
- 本書の内容は、考古学研究室の教員や卒業生を中心に執筆者を募り、各々が日々取り組んでいる研究や業務に関する論考を掲載したものである。その内容は、下記の企画会議参加者による協議を経て決定した。
仲原知之、丹羽恵二、東村純子、森島一貴、大坪州一郎、初村武寛、笹栗 拓、藤原光平、石谷 慎、大平理紗、新尺雅弘、岡田大雄
- 本書における各論考は、下記の校正メンバーによる校閲を経た上で掲載した。
丹羽恵二、森島一貴、笹栗 拓、石谷 慎、大平理紗、稲本悠一、新尺雅弘、溝口泰久
- 執筆者については、巻末に一覧を記した。
- 本書の編集は笹栗 拓・菱田哲郎がおこない、上記の校正メンバーが補佐した。また、諫早直人先生（文学部准教授）から多大な協力・助言をいただいたほか、山内愛弓・横白彩江・多田一郎をはじめとする大学院生や学生からも助力を得た。